

夏季における熱中症対策について

- 1 教室では、エアコンや扇風機などを効果的に使い、熱中症対策に心がけます。
- 2 担任は児童の健康状態を把握するように努め、体調が悪くなったら自分ですぐに担任に申し出るように指導をします。
- 3 毎日**熱中症指数**を WBGT（湿球黒球温度）指標計で計測し、掲示板（保健室前）で知らせたり、校内放送等で注意を呼びかけたりします。また、WBGT の数値が高い場合は外遊びや体育の授業を見合わせます。
- 4 体育の授業前後の健康観察・水分補給を必ず行い、運動量に応じて、随時日陰での休憩・給水を入れながら、無理のない運動に心がけます。また、休み時間の外遊びや運動時は、**マスクを外すよう指導します。**
- 5 熱中症対策グッズを職員室・保健室に用意して、体育の授業ではいつでも持ち出し、対応ができるようにします。

【熱中症対策グッズ（クーラーボックスに入れて保管）】
・冷却剤 ・体温計 ・OS-1 ・うちわ ・タオル

- 6 放課や清掃時を含め、屋外での活動には**帽子**を着用させます。

【ご家庭へのお願い】

- ・体調管理のために、「早寝・早起き・朝ごはん」の生活習慣をしっかりつけさせてください。
- ・**日傘や保冷スカーフ・リング等を活用ください。**（学校で冷却はできません。）**記名**を確実にし、自分で使用・保管できるように家庭で練習させてください。日傘を使用する場合は、通学班で1列に並び、通行の妨げとならないようご配慮ください。
- ・水分補給ができるよう**水筒の持参**はもちろんのこと、必要に応じて予備の水筒やペットボトルもご用意願います。
- ・登下校のかばんは、ランドセルでなくてもかまいません。ただし、安全・防犯のため背中に背負う形のものにし、**防犯ブザー等**を携帯させてください。また、**児童クラブ等のカード**を現在使用されている方も、携帯をさせてください。